



~佐原さん家族 あれから11年~

~2023 現在~



~2012~

あれから11年目の佐原さん!

2011年3月、東日本大震災を機に、子供のために西日本の食材を探してスーパーをばいにするようになった佐原さん。その中で得られた情報の一つが合鴨米。ネットで購入し合鴨米を調べる中でたどり着いたのが、にほんばし島根館。出会ったフランナーさんから紹介されたのが美都町でした。2012年6月、美都町に移住して11年近く時間が経過したのですが、改めて佐原さんにお話を聞きました。

●2023年を迎え、11年近く経過後農業生活も安定していると思いますが

まだまだ安定していません。お米の耕作面積は当初から3町あり、3.5町で少し増えた程度ですが、全部の田んぼで合鴨米を作るようになりました。そのほかに、人参とこんにゃくの耕作面積が増えました。人参は地域に向いているかなと思いますが、こんにゃくは難儀しています。

●鴨がかわいいわねー

小さい頃はかわいいです。成長すると個性が出てきます。幼鳥期・思春期・成年期があって、思春期は反抗期があって性格もいろいろで、小屋に戻らなくなる子もあり、人間と一緒にです。成長した合鴨は、今年はベトナムの人が経営するレストランに出荷しました。毎年販路が変わるので考えようとなります。ふるまひ返礼品でスムーズに出ています。



●じじいからは農業を継ぎますかねっ

自分たちが怪我や病気になるらず、回かが起こらない限り続けていこうと考えています。農業機械は師匠さんから譲り受けたものを使用しながら、補助金等も利用しつつ更新していきます。新しい機械だと作業もだいぶ楽になります。

●おっちゃんもなうなっ

周のから見れば苦労だと思っかもしませんが、計画通りに進んだためしがなく、対処しながらの作業なので、苦労もあっていけません。最初は何かあったらどうしようと考えていましたが、今は考えなくなりました。それより次は回ったのよいかを考えるとどうしようと思います。苦労と思っただの何もできな気がつきます。

●美都での生活が楽しいよなっ

冬は家が寒いのが不満です。夏は夜が涼しいので快適です。東京の暑さは地獄です。美都の生活は近所に温泉があつて最高です。関東と景色が違うので、いちいち驚きます。須佐のホルンフェルス・千畳敷・宮ヶ島 衣毘須神社・石見銀山などの観光名所探訪や、温泉めぐりをするのが楽しいです。来た頃は子育ても慣れないことが多く、時間がなかなか空けられなかったけど、今はそつじう時間ができて楽しいです。



●来られた時、子供さんは小さかったですかねっ

今は大きくなりました。その頃は子供も大変だったと思います。「大変だったよねっ」と子供に聞いたら、「じじい、じかできないこともあったから良かったんじゃない」と言っていました。



●今後の楽しみがいろいろ聞かされたっ

近くにある知らないところたくさん行きたいです。あと、海外旅行に行きたいです。夫婦二人になったことから猫を飼い始めました。猫のおかげで喧嘩が少なくなりました。

●じい親はお元気なわけじゃないかなっ

親もここに来た頃に比べて高齢になりました。「東京には戻ってこないのか」と聞かれますが、夏が暑いので帰らないと答えています。



〜平ノ思書に書ける佐原さんでした〜

～ ようこそ美都へ ～



麻生祥子さん
福岡県北九州市出身

しかし、冬の朝に車のフロントガラスが凍っていたり、今まで出会ったことがない大きさの虫に出会うなど、大変なことも多くあります(笑)そんな生活全部をひらひらめめて充実していますね。

●将来についてどうをしてみたいですか？

私は大学生の頃心理学を学んでいたのですが、ゆゆゆは心理学を生かせる職業に就きたいなと思っています。現在は益田市内で仕事をしています。高校生と関係性が深まっています。関わらせてもらっています。高校生と関係性が深まっています。高校生と関係性が深まっています。高校生と関係性が深まっています。

フリーランスに関っていますが、美都に住んで思ったことですが、今の家の固定費が安いことから、もし他の場所へ引っ越しても今住んでいる家を別荘にして長期休暇を取って遊びに行くなど、別荘として美都に関わり続けるような生活もしてみたいと思っています。

●美都についての家族の反応はいかがでしたか？

私が初めての一人暮らしで美都に住むことになったので少なからず家族は心配をしていたと思います。しかし、私が住み始めて少し経った頃に家族が私の家に来たことがありますが、家が広いことや固定費が安いことを知り、母親は「別荘にしたいー」と言っていました。

また、「温泉が近くにあるー」と家族の反応はいつも良かったです。

●美都の暮らしがいかがですか？
美都に住んで良かったなと思うことは数えきれないほひめるのですが、「一番思っていたのは」地域の方が温かいことだなと思っています。私が引っ越してすぐ「あんたが新しく来た人かー」と気軽に声をかけてくれる、すぐに受け入れてくれました。何かをしている自分ではな〜、「生きづらい」だけで喜ばれる感覚」を感じることができました。その感覚を知れたことは、私の人生の中でかけがえのない大切なことば。

美都に住み始めてから、「○○ちゃん」「△△さん」と呼ばれるくらい仲の良い70代・80代のお友達が多かったり、休日にゆずの収穫をして近くのおじちゃんの家へ遊びに行ったりと、福岡で暮らしていたら経験できなかったことが経験できていることがとても楽しいです！これからも関わり続けていきたいなと思える人に出会えることができました。

●美都にいられた経緯は？

就職先が益田市だったからです。

●美都の印象についてお聞かせください

住む前・山の中だと聞いていたので、生活が送れるのが面白い場所ではあるのか、住む場所は大丈夫なのか(なご心配なところは多かったです)。

1年ほど住んでみて…「快適」の一言に尽きます。地域の方がいつも声をかけてくれたり、困ったら助けてくれる方がたくさんいてくれるのが嬉しいです。また、わさびの葉を収穫したり、ゆずを収穫したり、都会では得難い経験ができていくのが幸せです。また、川が透き通っていたり、星がたくわんに見えるので、すごく自然が豊かなことも美都の良いところだと思います。



～ 金谷の城山桜 ～



益田市内から国道191号線を広島方面に走り、山料地区から県道314号線、市道金谷線を川沿いに数分走ると突然視界が開け、道沿いや川沿いに桜の木が植えられ、手入れされた棚田とゆず畑の風景が現れます。ここが限界集落といわれる美都町山本「金谷地区」です。

この地区をその尾根の高合には、昭和51年4月に島根県の指定天然記念物に指定された「金谷の城山桜」が地区を見守るが如く、そびえ立っています。

「金谷の城山桜」は、入船山城を築いた澄川氏がこの地に移り住んだ際に城の出丸部分に植えたものと言われ、地区の人々からは「一本桜」と呼ばれています。推定樹齢600年以上と言われるエドヒガンサクラの巨木で、幹の太さ約7m、樹高約15m、枝の張りは東西南北約20mに広がり、全国で七屈指の桜です。

600年以上地区を見守ってきた巨木も自然環境の変動による豪雪や台風、酸性雨などの影響で根元部分の空洞化、幹の腐りなどから花の数も減って弱り果てた状態になっていましたが、平成13年に関係各位のご尽力により、桜の木の再生措置や対策を施して頂きました。そして翌年には元気だった頃の姿を取り戻し、数十年ぶりに見事な満開の状態に戻りました。その後も地区住民、桜保存会、ボランティアの協力で、施肥や除草及び周辺の環境整備など、後世に残す取り組みを行い、毎年淡紅白色の花が満開に咲いています。

3月下旬から4月上旬になると、静寂した山里も「金谷の城山桜」や地区内の桜が満開になり、特に道沿いの桜は淡紅色のトンネルを通り抜けているような感じになります。

また、その時期になると近隣の方々の協力で「金谷城山桜まつり」が行われます。まつりでは子供神楽や露店も出店され県内外から千数百人の観光客が訪れて、地区は一段と賑わいを見せます。

今後は、「金谷の城山桜」をアップデートして風情とは違った桜が見られるように計画を進めています。四季それぞれに違った巨木の生命力と魅力を感じ、心を癒す「金谷の城山桜」。帰省時等には是非とも一度、見に来て下さい。

金谷自治会長 篠原浩和



ふるさと会員への登録や、当情報誌についてのご意見やご要望、または、紹介したいモノや人、グループなどがございましたらぜひお知らせください。なお、ふるさと会員の登録は無料です。お問合せ等は左記電話番号またはメールアドレス chilki-m@city.masuda.lg.jp まで。担当：美都地域総務課